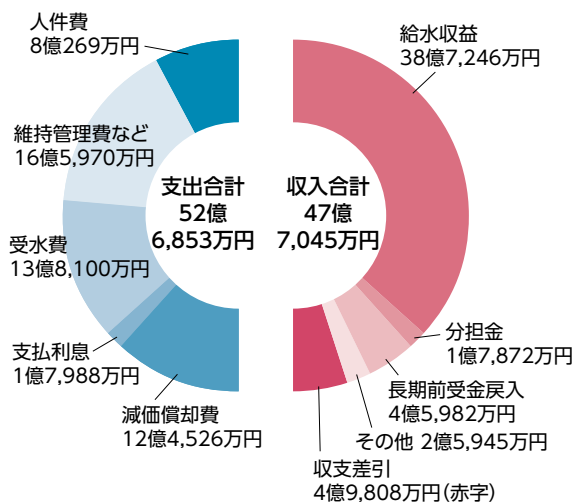


令和4(2022)年度 水道事業会計予算の概要

ID 1001676

水道事業は、今年度末の市内の給水人口(水道により給水を受ける人口)を23万1,105人、年間の有収水量(料金徴収の対象となる水量)を2,331万7,094m³と見込んでいます。

水道水を供給するための予算(収益的収支予算)



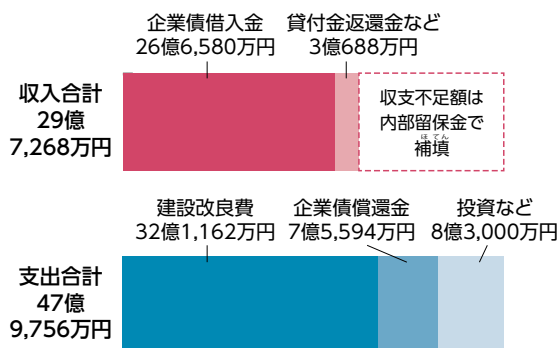
赤字が続く 厳しい財政事情

収入は、有収水量が減少傾向であることから、柱となる給水収益を前年度より約3,400万円減の38億7,246万円とし、その他の収入を合わせた総額は47億7,045万円となる見込みです。

支出は、川下川ダムの渇水対策費用(受水費や薬品費)などが増加する一方、市水道事業経営戦略に掲げている小浜浄水場休日夜間等運転管理業務委託の実施など経営健全化に取り組み、その他の支出を合わせた総額は52億6,853万円となる見込みです。

この結果、収支は4億9,808万円の赤字となります。令和元(2019)年度以降、決算での赤字が続いていることから、現在上下水道事業審議会において、料金改定の可能性も含め、今後の水道事業のあり方について慎重に検討を進めています。

施設・設備の更新などのための予算(資本的収支予算)



施設・設備の耐震化に注力

収入は、建設改良に伴う企業債借入金26億6,580万円や病院事業会計への貸付金の返還金2億5,000万円などを予定しており、総額は29億7,268万円となる見込みです。

支出は、主な建設改良事業として、管路更新事業9億2,000万円、新庁舎建設事業6億5,899万円、基幹施設耐震化事業4億3,840万円などを予定しており、総額は47億9,756万円となる見込みです。

今年度は、耐震性に問題があった旧上下水道局庁舎(現在は仮設庁舎へ仮移転中)から、安全に業務を継続できる新庁舎へ移転します。今後も安定した水道水の供給に努めながら、引き続き管路や施設の耐震化を進めます。

上下水道局経営企画課(☎77・2104 FAX72・5381)

水道水フッ素およびその化合物検査結果 ID 1028021

いずれも水質基準を満たしており、安全です。

採水場所	系統	採水月日
		3月1日
すみれが丘	惣川浄水場	0.20
ゆずり薬台	惣川浄水場(生瀬経由)	0.20
長尾台	小浜浄水場(川面経由)	0.28
安倉中	小浜浄水場	0.29
東洋町	阪神水道	0.07
中山桜台	小浜・県営水道	0.19
大原野	小浜・県営水道	0.19
武庫山	惣川・阪神水道	0.09

単位=mg/l、厚生労働省の水質基準は0.8mg/l以下です。

上下水道局浄水課(水質検査室)(☎83・6940 FAX83・6941)

水道メーターの法定取り替え ID 1012071

水道メーターは、法律で有効期間が8年と決められており、本市でも地域ごとに取り替えています。5月の取替対象地区は下記のとおりです。対象者には事前に取り替え予定日などを記載したお知らせを委託業者が投函します。都合の悪い場合はお知らせに記載している委託業者に連絡をお願いします。

実施期間 4月20日(水)~5月24日(火)

対象地区 福井町、亀井町、御所の前町、美幸町、高松町、末成町、光明町、中野町、谷口町、大成町、大吹町、高司、千種、塔の町、仁川台、仁川うぐいす台、仁川団地、仁川宮西町、仁川高丸、仁川旭が丘、仁川月見が丘、仁川高台、仁川北、鹿塩、駒の町、西谷

上下水道局お客さまセンター(☎73・3988)